

日本一の高さを誇る灯台

出雲日御碕灯台



島根

ー出雲大社と並ぶ地域のシンボルー

出雲日御碕灯台は、世界遺産である出雲大社の約10km北西、島根半島の西端に建設されました。住民の要望をうけ計画が始まったのち、工期3年の時間をかけ明治36年(1903)に完成しました。

この灯台は石造の外壁とレンガ造の内壁を梁で繋いだ珍しい構造で造られております。設計は日本人技師石橋絢彦の手によります。44mの灯台の高さは灯塔をもつ灯台の中で日本一の高さを持ち、世界の灯台100選にも選定されています。

出雲日御碕灯台では航路標識事業の周知啓蒙のため、公益社団法人「燈光会」により参観事業を実施しており、灯台の上まで登り景色を楽しむことができます。灯台に上ると、眼前に日本海が広がり、リアス式海岸が一望できます。資料展示室も併設され灯台の歴史などを知ることができます。

ぜひ、出雲日御碕灯台に足を運んでみてください。

お問い合わせ先

公益社団法人 燈光会 出雲日御碕支所

TEL 0853- 54 -5341

HP <http://www.tokokai.org/archive/data/index.html>

参観時間:9:00~16:30

管理事務所:境海上保安部

住所 鳥取県境港市昭和町9-1

TEL 0859 - 42 - 2532



☆灯台150周年

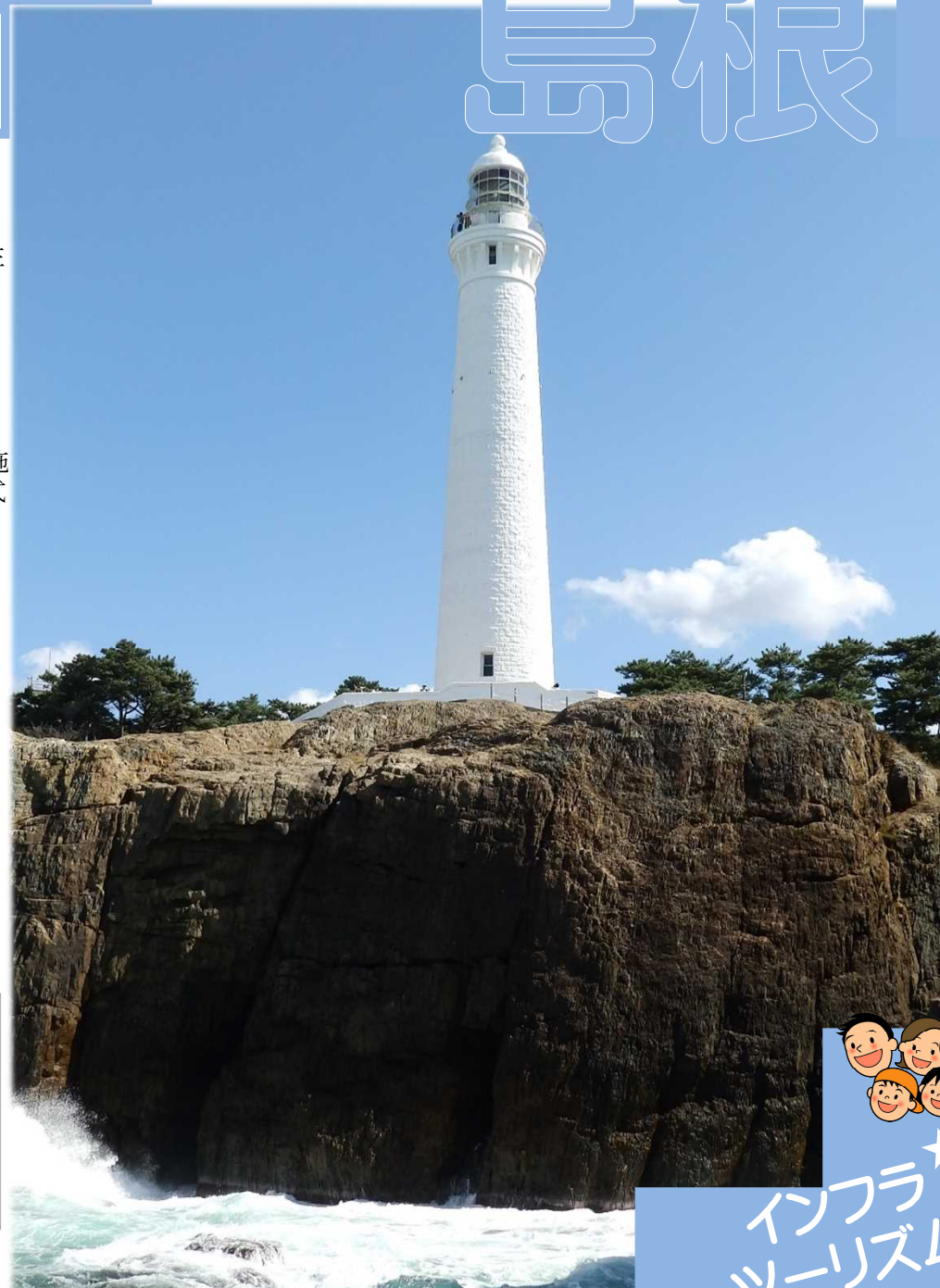
日本初の洋式灯台である「観音埼(かんのんさき)灯台」(神奈川県横須賀市)は、明治元年11月1日に起工されました。平成30年はそれから150周年の節目を迎えます。



日御碕から見る夕日

出雲日御碕灯台の要目

所在地	島根県出雲市
点等年月日	明治36年4月1日
光り方	複合群せん白赤互光 毎20秒に白2せん光と赤1せん光
光達距離	21海里(38.9km)
高さ	44m (地上から構造物の頂部まで)



インフラ
ツーリズム